

高知土木技士

No.75

(公社) 高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館 2F TEL 825-1844]



令和5年度表彰 高知県優良建設工事

施 工

杉本土建 株式会社

工 事 名

河改第8-1-3号 新荘川河川改修工事

工 事 場 所

高岡郡津野町

現場代理人兼
主任技術者

西 川 智一郎



～ 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業 (新日下川放水路) の完成について ～

国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所長

渡 邊 国 広

1. はじめに

平成26年8月の台風第12号による被害を契機に、国土交通省で整備してきました「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業（日下川）」の新日下川放水路が令和6年3月に完成しましたので、ご紹介させていただきます。

2. 事業の経緯

一級河川仁淀川水系の一次支川である日下川は、上流に行くほど地盤が低くなる低奥型地形を呈しており、河床勾配が極めて緩いため、水はけが悪く、仁淀川本川の背水影響を受け、内水氾濫を引き起こしやすい地形特性を有しています。

さらに、仁淀川流域は、年平均降水量が約2,500mmを越える全国でも屈指の多雨地域であり、日下川流域も降水量が多く、集中豪雨が発生しやすい気候特性を併せ持った流域であることから、日高村では古くから浸水被害に悩まされてきました。



図-1 日下川流域位置図

このため、日下川流域では、派川日下川（放水路；高知県、昭和36年完成）や日下川放水路（国、昭和57年完成）、さらに高知県による岡花調整池（日下川：平成10年完成）、馬越調整池（戸梶川：平成23年完成）の整備などの治水対策により浸水被害軽減に一定の効果을あげてきました。

しかし、平成26年8月の台風第12号により、日高村では浸水面積274ha、床上浸水109戸、床下浸水50戸のほか、国道33号は約18時間の通行止め、JR土讃線は約70時間の運休になるなど交通網も遮断され、甚大な被害が発生しました。



写真-1 日高村の治水施設「放水路」「調整池」



写真-2 平成26年8月の浸水被害状況

この被害を契機に、平成27年度に国、高知県、日高村が連携して総合的に治水対策を推進する「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業（日下川）」が採択され、国土交通省は3本目の放水路トンネルとなる新日下川放水路の建設を、高知県は日下川及び戸梶川の河川改修を、日高村は局所的な床上浸水を解消するための輪中堤の建設や「日高村水害に強いまちづくり条例」の制定に取り組むことが決まりました。



図-2 国・県・村の連携によるハード・ソフト一体の対策

3. 新日下川放水路の概要

- (1) 工事期間：平成30年1月～令和6年3月
- (2) 工事規模：総延長5,368m（うちトンネル延長5,130m、呑口部200m、吐口部38m）、内径7m、最大放流量約130m³/s
- (3) 総事業費：約257億円

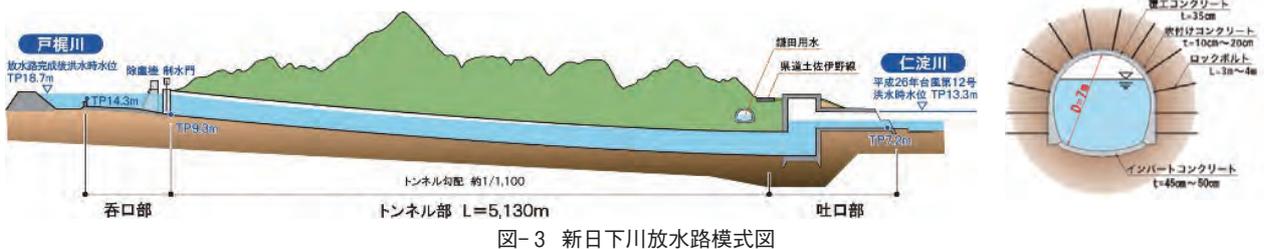


図-3 新日下川放水路模式図



写真-3 新日下川放水路 (呑口部)



写真-4 新日下川放水路 (吐口部)

●呑口構造

放水路呑口は、日下川・戸梶川の水位がT.P.14.3mを超えると自然に固定堰を越えて流入する構造で、流木などのゴミの流入を防ぐ除塵機、仁淀川本川からの逆流を防止する制水門を備えています。(図-4)



図-4 新日下川放水路呑口側縦断面図

●吐口構造

放水路吐口は、鎌田用水や県道に影響を与えないよう、アンダーパス形式により放水路を立体交差させ、接続ますを設けて逆サイフォン構造により仁淀川へ放流します。(図-5)

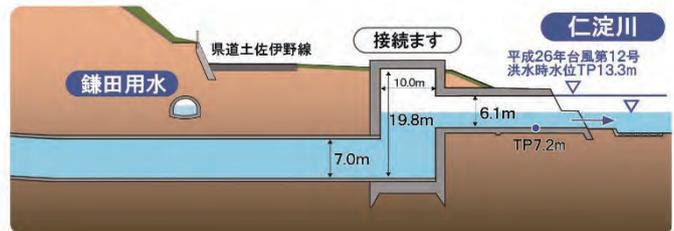


図-5 新日下川放水路吐口側縦断面図

(4) 施工時における取組・工夫

新日下川放水路の早期効果発現を目指し、効率的かつ安全に施工するため、トンネルインバート施工にスリップフォーム工法を採用し工程を短縮(写真-5)、狭隘な断面においても安全に大型車両が離合できるようにトンネル坑内外の車両位置検知システムを開発(図-6)、トンネル掘削時に行う切羽評価に人工知能(AI)によるディープラーニング手法を活用し安全かつ現場技術者の負担を軽減するなど、様々な工夫を凝らして施工しました。



写真-5 スリップフォーム工法による機械化施工

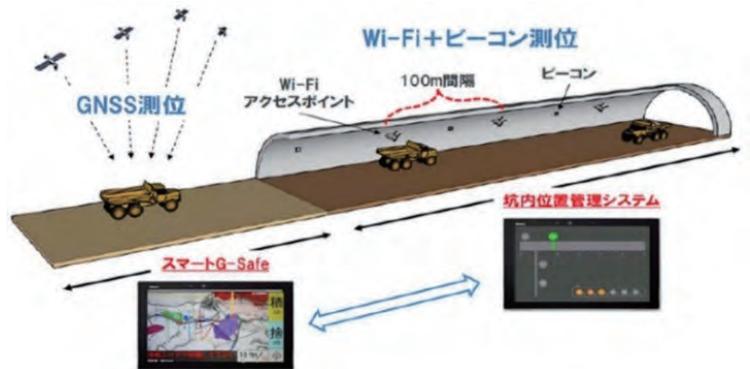


図-6 坑内外の車両位置検知システム

4. 新日下川放水路完成式

令和6年4月21日(日)、高知県日高村の新日下川放水路の呑口部において、新日下川放水路完成式を挙行了しました。尾崎国土交通大臣政務官をはじめ、国会議員、県・村議会議員、用地協力者など約160名の方々に参加いただきました。

式典では、尾崎国土交通大臣政務官の式辞、濱田高知県知事・戸梶日高村長(当時)による主催者挨拶、国会議員からの来賓祝辞、小林高知河川国道事務所長(当時)による事業概要説明の後、村民からありがとうのビデオメッセージが放映されました。式典は雨天のなか進められましたが、くす玉開披の直前、奇跡的に降雨がやみ、屋外でくす玉開披や風船飛ばしを行うことができました。式典の後、期成同盟会によるもち投げには、お餅など20,000個が用意され、演台50名・来場者約3,000人によって盛大に完成を祝いました。



写真-6 新日下川放水路完成式

このほか、日高村主催の完成イベントも同会場でも同時開催され、放水路の歌を作詞作曲したりベットボタンさんによるステージイベント、日高村観光協会によるマルシェ、ガイド付き放水路見学のトンネルウォーク、災害対策車両の展示なども行われました。



写真-7 くず玉開披全景



写真-8 期成同盟会によるもち投げ状況

5. インフラツーリズム

日高村では、令和2年8月、国土交通省「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」のモデル地区として新日下川放水路が選定されたことで、インフラ施設を新たな観光資源として価値を高めることにより、地域活性化につなげる取り組みを進めています。

インフラツーリズムの展開にあたっては、水害と闘ってきた歴史的背景も交え、人智を結集して水と共生する暮らしを日下川の威力と土木技術の圧倒的迫力を通じて体感する「巨大な水のトンネルは未来へのトピラ。」というコンセプトを掲げ、観光資源としての魅力や価値を見出したいと考えています。

新日下川放水路では、工事着手以降、延べ4,000人を超える方々が工事現場や完成後の施設見学に訪れており、新日下川放水路の運用開始後は、民間による収益事業として自走化することを目指して令和3年度より民間主導のツアー等を行っています。民間主導のツアーは、有料にも関わらず多くの参加があり、「普段は体験できないことがたくさんあり、充実することができました。」「貴重な機会をありがとうございました。」などの感想をいただき、好評なスタートを切っています。



写真-9 インフラツーリズムの状況

6. おわりに

国で整備してきました新日下川放水路が完成し、県及び村の関連事業の効果もあわさって、平成26年8月の台風第12号と同規模の洪水に対して床上浸水を解消することが可能となるなど、地域の安全・安心が向上し、地域の発展にも寄与するものと考えております。

新日下川放水路の整備にあたり、用地をご提供して頂いた皆様、設計・施工に携わられた関係者の皆様、本工事に御理解と御協力を賜りました地域の皆様に対しまして、心より厚く感謝申し上げます。

★ 技術コーナー ★



～高知県西南地域における 四国8の字ネットワーク全線事業化～

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所長

須田 泰造

1. はじめに

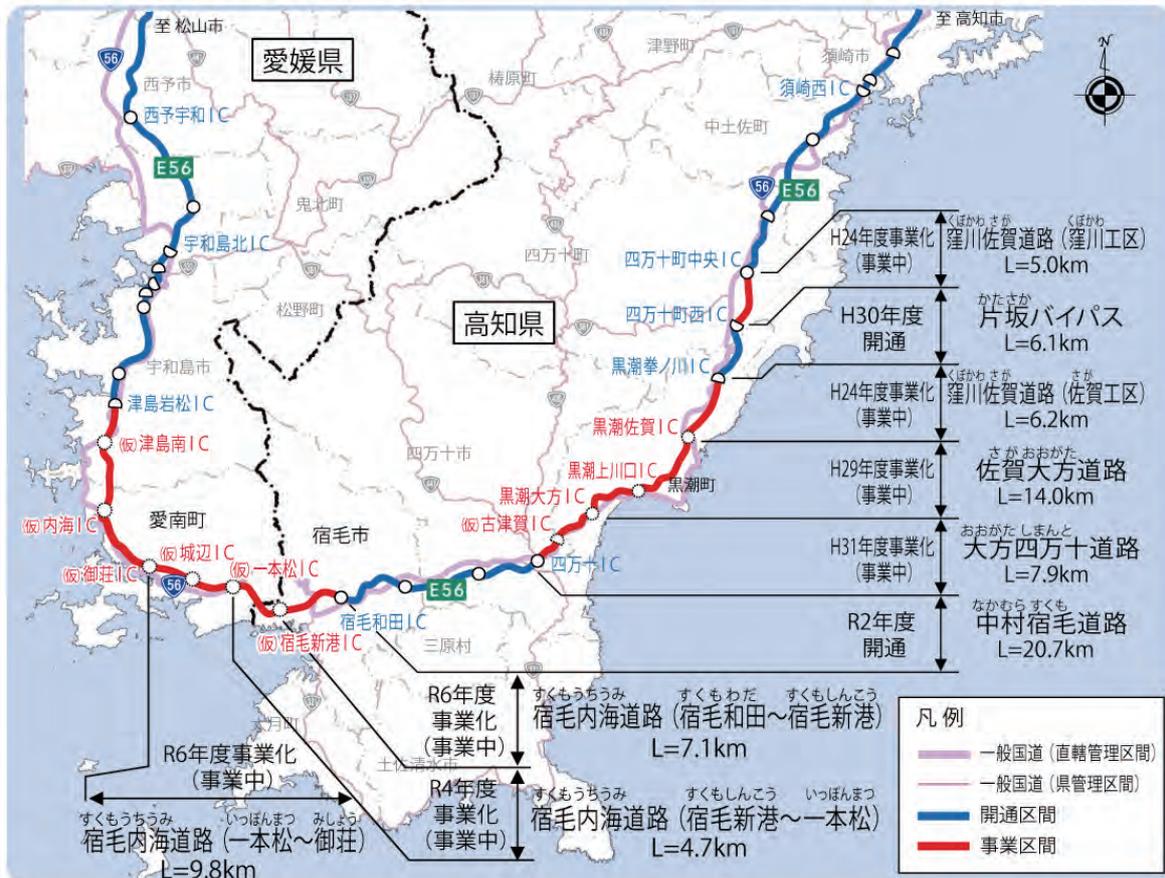
本年度、四国8の字ネットワークの一部を構成する「宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港 延長7.1km）」が新規事業化され、四国西南地域及び高知県内における高規格道路のミッシングリンク解消に向けて大きな一歩を踏み出しました。

本稿では、国土交通省中村河川国道事務所における四国8の字ネットワークの整備状況についてご紹介させていただきます。



四国8の字ネットワークのイメージ

道路事業箇所図



四国西南地域の道路改築事業の状況

2. 事業の概要

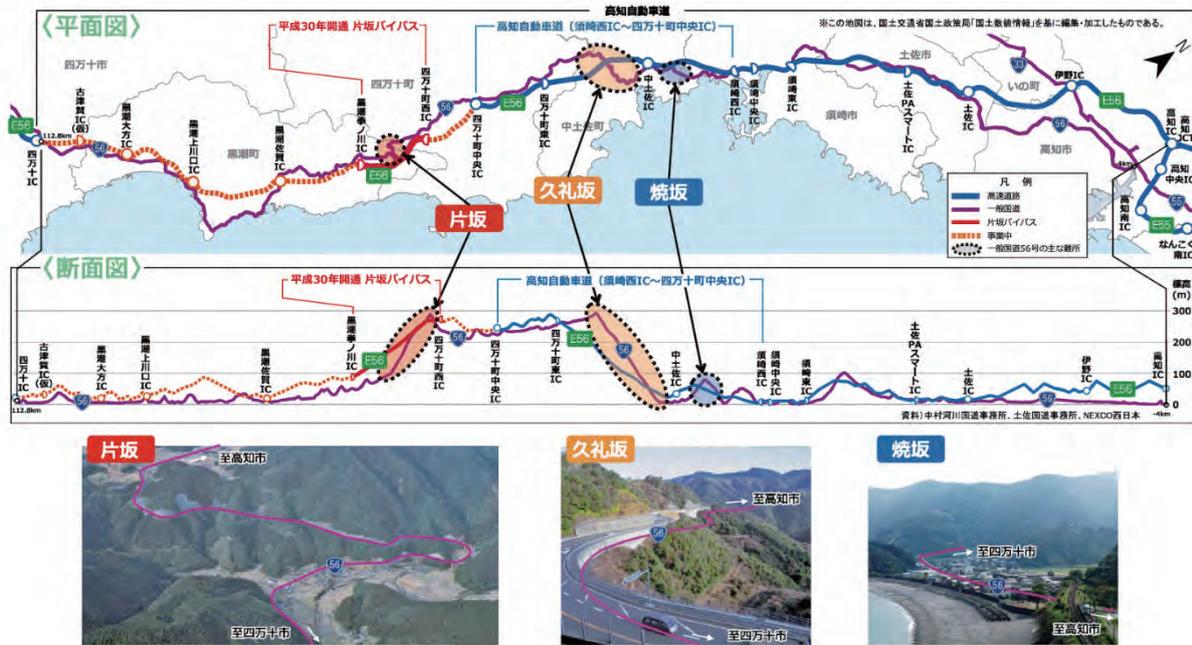
当事務所が位置する高知県西南地域において、国道56号は唯一の幹線道路であるが、変化の多い海岸線や山岳地帯を通過しているため交通の難所を多く抱えています。また、豪雨時の災害危険箇所や南海トラフ地震発生時には最大津波高34mの津波が想定される黒潮町を通過し、さらに、県庁所在地や空港から離れた位置にあるなど様々な課題を有しています。

このような課題を克服するため、現在当事務所では四国8の字ネットワークを構成する国道56号「窪川佐賀道路（平成24年度事業化）」、「佐賀大方道路（平成29年度事業化）」、「大方四万十道路（平成31年度事業化）」、「宿毛内海道路（令和4年度、令和6年度事業化）」の事業を進めています。

3. 整備効果

(1) 開通済区間の事業効果

高知自動車道（須崎西IC～四万十町中央IC）の開通により交通の難所である「焼坂」、「久礼坂」、平成30年度開通の片坂バイパスにより、交通の難所である「片坂」を回避出来るようになり、走行性、安全性の向上はもとより黒潮町から高知市までの時間短縮も図られました。



開通済区間の事業効果

(2) 事業中区間の整備効果

現在、四万十町から四万十町までの国道56号にある92箇所の防災危険箇所が窪川佐賀道路整備により50箇所になり、佐賀大方道路、大方四万十道路の整備により全て解消します。また、津波浸水区間を迂回するルートを整備することで、南海トラフ地震発生時における救援・救助・復旧など地域住民の日常生活を確保する上で重要な「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成します。さらに、県庁所在地や空港、医療施設等への速達性向上によって、地域産業活性化や医療活動を支援します。

<並行する国道56号の防災危険箇所及び津波浸水区間>



<黒潮町の防災拠点>



●黒潮町佐賀～四万十市右山間の津波浸水予測区間の延長

【黒潮佐賀IC～四万十IC開通前】	17.5km
(現国道56号経由)	
→【黒潮佐賀IC～四万十IC開通後】	0km
(黒潮佐賀IC～四万十IC経由)	

出典【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測 (H24.12.10公表)に基づく。

今後の開通予定区間の事業効果

4. 事業の進捗状況

現在の事業の状況については、事業化の最も早い「窪川佐賀道路」において、全線にわたり改良・橋梁・トンネル工事を推進しているところであり、令和5年12月には、窪川佐賀道路において2番目に長い平串トンネル (1,337m) が、令和6年1月には、窪川佐賀道路において最長である不破原トンネル (1,831m) がそれぞれ貫通を迎えたところです。

■計画平面図



①見付地区付近



②金上野地区付近



③熊野浦地区付近

「窪川佐賀道路」の概要と現在の工事の状況



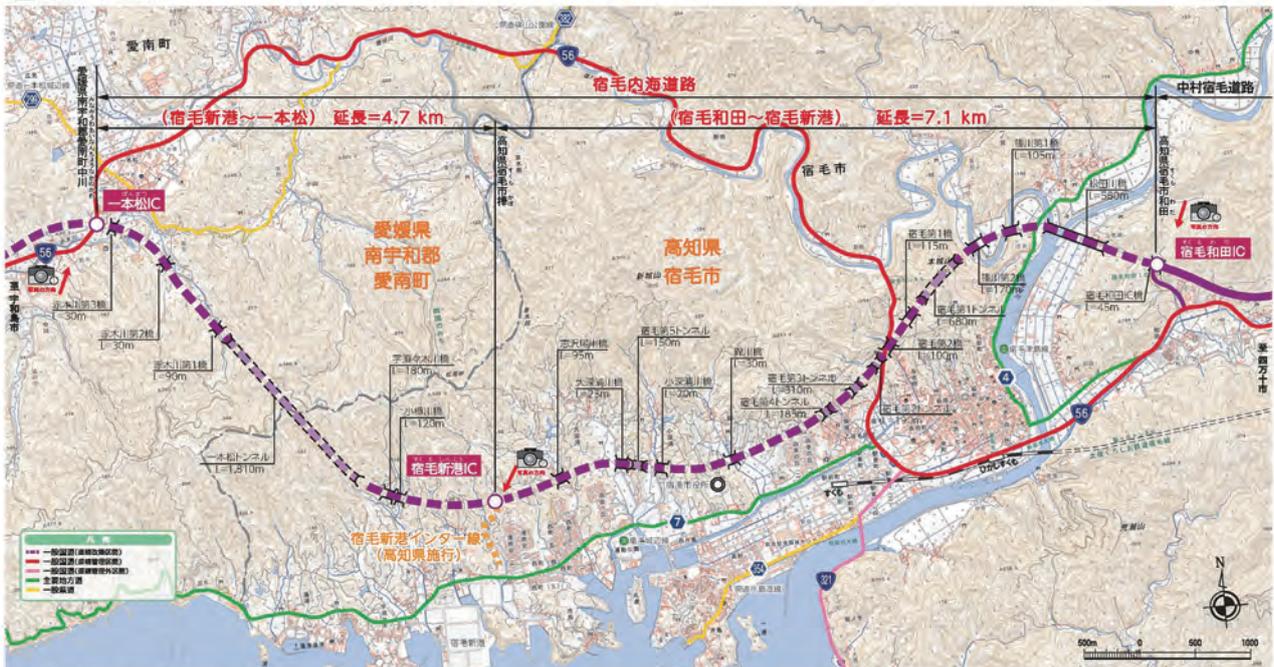
平串トンネルの貫通状況 (R5.12)



不破原トンネルの貫通状況 (R6.1)

「佐賀大方道路」や「大方四万十道路」においては、調査設計・用地取得を進めつつ、順次工事へ取りかかっている状況であり、本年度新規事業化した宿毛内海道路（宿毛和田～宿毛新港）及び隣接する宿毛内海道路（宿毛新港～一本松）においては、調査・設計を推進していくこととしております。

■ 計画平面図



■ 完成イメージ



一本松IC(仮称)付近



宿毛新港IC(仮称)付近



宿毛和田IC(仮称)付近

本年度事業化した区間を含む「宿毛内海道路」の概要

5. おわりに

今後とも、一日でも早い整備完了を目指し、高知県西南地域の安全で便利な道路ネットワークの確立に寄与することが出来るよう、関係者一同尽力して参ります。

★ 会員の広場コーナー ★



清流新荘川における魚道整備のとりくみ ～魚道を確実に機能させるために～

杉本土建株式会社 西川 智一郎

1. はじめに

当該事業は、二級河川新荘川の中流部において、河床低下や洗掘により落差が生じた既設床止に魚道を設け、魚類等水生生物の移動に配慮した川づくりを行うものである。

新荘川はアユ釣りやレジャー等によく利用され、河川環境の維持・改善に対するニーズが高いことから、今回の魚道整備の意義は大きく、確実に魚道を機能させる必要があった。加えて、新荘川は清流として知られることから、施工時の濁水や構造物の景観的な配慮も重要であった。

2. 工事概要

工事名：新荘川 河川改修工事

施工延長 L = 40m

魚道工 N = 2基

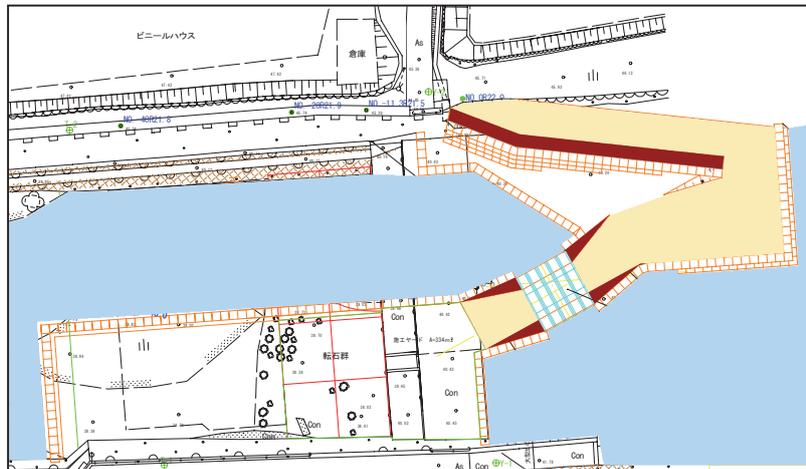
護床工 N = 1式



施工特性

当初設計では大型土嚢340個の作製及び盛土材の土砂を約5km下流の河川敷から採取、搬入し仮設道路を構築する計画となっていた。

また河川内での施工にあたりアユの流下や漁期を考慮した工程計画の作成及び、現場周辺の交通に配慮した施工計画が必要であった。



3-1. 仮設計画の検討による工期短縮と濁水防止の工夫

仮設道路の施工にあたり大型土嚢や土砂の搬入及び搬出時の交通への影響や作業日数の短縮を図るため、仮栈橋への変更を提案した。また土嚢作製や盛土の採取を現場付近の中洲の土砂を使用し土砂運搬作業を最小限に抑え、水替工は右岸側から排水ポンプ（φ400）プレスト管（φ450）により工区外へ排水した。



効果

仮栈橋に変更することで仮設道路の設置・撤去に要する土砂の積込・運搬作業を少なくすることにより約25日の工程の短縮が可能となった。排水ポンプ・プレスト管での工区外排水を実施することで全面施工が可能となり仮締切工の設置・撤去の工程を大幅に省略することができ、濁水の抑制にもなり環境に配慮した施工ができた。



3-2. 魚道を確実に機能させるための工夫

新設した魚道を機能させるためには、魚道自体が生物にとって遡上可能な流況であることはもちろんのこと、下流から遡上してきた水生生物が魚道の登り口に到達できるよう瀬切れを防止することが前提条件である。

しかしながら、護床工部では水流がブロックの床掘面を伏流し、瀬切れ状態が生じやすい。

対策

こうした課題を踏まえ、魚道の石材配置やコンクリートの成形にあたっては、専門家の技術指導を仰ぎ、魚道自体の機能を確保した。護床工の施工においては、ブロックの隙間の間詰を十分に行いブロックの上方に水面を形成させる必要があるが、今回使用した護床ブロックは、その構造と据付時の噛み合わせ方法から、安定性に優れる反面、隙間に土砂を充填しにくい。この対策として、コンクリートの締固めに用いる高周波バイブレーターを使用して土砂の充填を行い、入念な品質確保に努めた。



効果

間詰作業を時間をかけ丁寧に施工することにより河床の洗掘や吸出しは見受けられず、狙い通り護床ブロックの上方に水面が形成され、下流から遡上してきた魚類等が魚道の登り口まで到達できる状況を形成することに成功した。



3-3. 水じょく池（巨石）により護床ブロックを目立たなくする工夫

水じょく池工の施工においても同様の方法で巨石の間に土砂を充填して伏流による瀬切れを防止しつつ、床止の落差による流水を減勢する機能を発揮させることができた。加えて、水じょく池工により護床ブロックが水没することで人工物による景観的なインパクトを緩和するなど、清流新莊川に相応しい出来映えとなった。



4. おわりに

こうした工夫と努力により、施工直後からアユや甲殻類等の水生生物が魚道を利用していることが確認された。漁協等の関係者からも「アユがよく遡上しており、床止の直下にアユが滞留しなくなった」との連絡も頂いている。

また、魚道工の石材据付やコンクリート打設にあたっては、土木事務所の職員を対象にした研修会を開催し、職員10名が2日間に渡って実際に施工を行うなど、若手技術者の技術の向上を目的とした取り組みも行うことができ、発注者や指導して下さった先生方、協力会社の皆さんのおかげで自然と調和した魚道を完成させることができました。



★ 委員会コーナー ★

このコーナーは、技士会の4委員会（総務、技術、研修、広報の各委員会）の委員の皆様方に、持ち回りで各委員会活動に関するものに限らず、自由なテーマでお願いしています。今回は、広報委員会の皆様です。



「日常」

高知県土木部技術管理課 高橋 英 俊

以前はソフトボールチームに所属するなどして定期的に体を動かしていましたが、まだまだ子供が小さいこともあり、日々の生活の中で自分の時間は少ない状況が続いています。

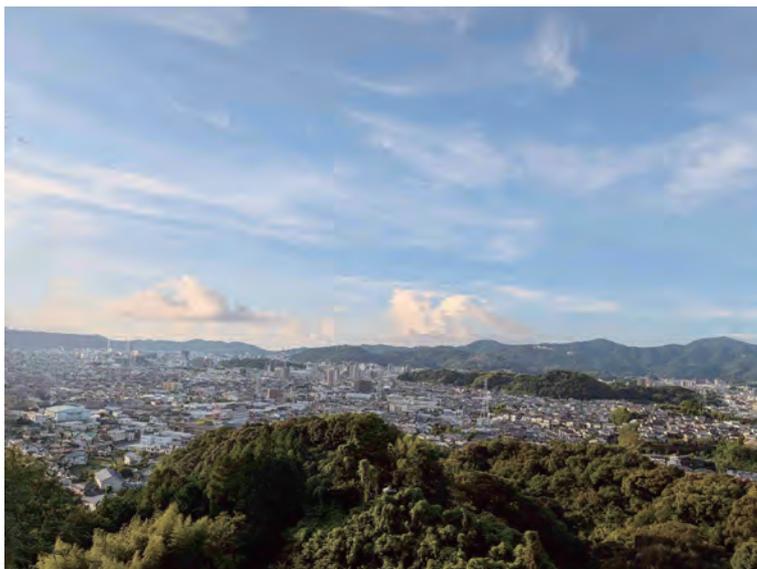
そうした中、やっていることで、健康の維持や小さなやりがいにつながっていることがあります。

一つ目は、健康の維持として、朝晩、時間の都合をつけてウォーキングやジョギングを続けています。やはり時間を作り出すことができるのは朝の方が多ですが、色々とコースを変えて、歩いたり、走ったりしています。私の家の周辺は起伏の多い地形なので、良い運動になり、また、高い所に行けば、朝のすがすがしい景色や、きれいな夜景が見えます。



朝の風景 (1)

また、1年間を通して見ますと、冬は手袋をし、白い息を吐きながら、夏はムットする暑さの中で大汗をかきながら歩いたり、走ったりすることで、血压対策と共に、良いリフレッシュになっています。



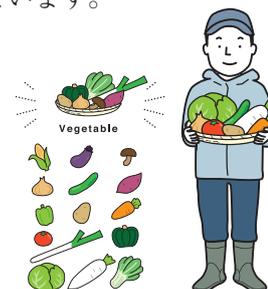
朝の風景（2）

もうひとつの、小さなやりがいは、家庭菜園での野菜作りです。始めてから十数年になりますが、それまでほとんど野菜を育てたことが無かったので、本を読んだり、最近ではYouTubeも見て勉強しながらやっていますが、毎年々々、作物の出来は違ってきます。自然の様子が毎年違うので、できればも違って当たり前なのですが、なぜこうなったのか、明確な振り返りができないまま、毎年季節ごとの野菜を少しずつ育てています。



家庭菜園

また、苦勞している点はやはり、雑草対策です。少し家から離れた所にあるので、行けるのは週末に限られます。夏場はよく「草刈りをしても、振り向いたらまた生えている」と言われますが、毎週少しずつでも刈っていないと大変なことになってしまいます。



そうした中で、育てた作物が収穫できることは、うれしいことなのですが、一番やりがいを感じていることは、日々の作業のbefore、afterで風景が違ってくることです。草刈りをして集積、耕して畝づくりなど、作業の後に出来上がりを見返し達成感を感じています。やはり、何かものができることが好きなんだろうな、と思う次第です。

以上、簡単ではありますが、私の日常について書かせていただきました。
寄稿の機会をいただきありがとうございました。

KDJ (高知土木女子) のWA

ミタニ建設工業(株) ICT推進部 朝比奈 亜実

私は体を動かすことが大好きで、小学二年生から高校三年生までバレーボール一筋のスポーツ少女でした。高校を卒業する時期が近づき、進路について悩んでいた私に、母が「自分の好きなことをしたらいいよ」と言ってくれました。その言葉に背中を押され、元々ものづくりが好きだったこともあり、建設業への就職を決めました。

入社後の3年間は、舗装部で施工管理として測量業務や安全管理業務などを行っていました。その後、妊娠・出産を機に今後のことを考え本社への異動を希望しました。ちょうどその時、新しい部署ができるタイミングで、現場にも出られるICT推進部への異動を決めました。現在の業務では主に、3次元設計データの作成、ドローンや地上型レーザースキャナを使用した測量業務と併せて社内では3次元設計データの作成について若い技術者に向けて研修講師をさせて頂いています。初めは戸惑うことも多くありましたが、現場の方々とコミュニケーションをとることで少しずつ慣れていきました。現場に携わることができ、少しでも貢献できることが楽しく、やりがいとなっています。



息抜きとして、毎月1回、社内で運動を行っています。仕事前や仕事終わりの1時間を利用して、社員同士、交流しながら汗を流しています。普段関わらない部署の方とも交流できるので貴重な時間になっています。

また、年々参加人数も増えてきています。

私の休日は子供達と遠出したり、お買い物を楽しんだりしています。また、季節ごとのイベントや物産展などに参加することも多く、地域の文化や催し物を楽しんでいます。今の時期は暑い日が多いのでお家プールや川遊びを楽しんでいます。



次号は、高知県土木部技術管理課 大野聡子様、よろしくお願いします。

令和5年度 収支決算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	15,805,000	16,160,000	△355,000
事業収入	8,325,076	9,371,046	△1,045,970
受取助成金	700,000	700,000	0
雑収入	284,335	152,856	131,479
計上収益計	25,114,411	26,383,902	△1,269,491
事業費	19,118,089	19,177,368	△59,279
管理費	7,931,377	7,875,932	55,445
経常費用計	27,049,466	27,053,300	△3,834
当期経常増減額	△1,935,055	△669,398	△1,265,657
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△1,935,055	△669,398	△1,265,657
一般正味財産期首残高	2,932,262	3,601,660	△669,398
一般正味財産期末残高	997,207	2,932,262	△1,935,055
正味財産期末残高	997,207	2,932,262	△1,935,055

令和5年度 実施講習会

① 土木施工管理技術検定試験受験準備講習 (受講者合計…102名)

実施日	内容	受講者数	会場
6月14日(水)～6月16日(金)	1級一次(前半)	26名	高知県建設会館4階
6月20日(火)～6月22日(木)	1級一次(後半)	26名	高知県建設会館4階
8月30日(水)～8月31日(木)	1級二次	30名	高知県建設会館4階
9月12日(火)～9月14日(木)	2級一次・二次	20名	高知県建設会館4階

② 土木施工管理技術講習会 (受講者合計…458名)

実施日	講習地	受講者数	会場
6月27日(火)	高知会場	115名	高知城ホール
6月30日(金)	幡多会場	89名	大方ふるさと総合センター
7月4日(火)	東部会場	85名	田野町ふれあいセンター
10月25日(水)	幡多会場	65名	大方ふるさと総合センター
10月26日(木)	高知会場	104名	高知城ホール

③ (一社)全国土木施工管理技士会連合会主催
JCMセミナー (受講者数…56名)

実施日	講習名	受講者数	会場
10月27日(金)	維持管理セミナー	23名	高知県建設会館4F
11月9日(木)	JCMセミナー	33名	高知県建設会館4F

④ 監理技術者講習 (受講者合計…236名)

実施日	受講者数	会場
5月2日(火)	50名	高知県建設会館4階
7月25日(火)	68名	高知県建設会館4階
10月3日(火)	36名	高知県建設会館4階
12月12日(火)	23名	高知県建設会館4階
令和6年2月6日(火)	59名	高知県建設会館4階

令和6年度 収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
受取会費	18,070,000	16,190,000	1,880,000
事業収入	9,050,000	9,780,000	△730,000
受取助成金	700,000	700,000	0
雑収入	130,000	130,000	0
計上収益計	27,950,000	26,800,000	1,150,000
事業費	20,530,000	19,481,600	1,048,400
管理費	7,420,000	7,318,400	101,600
経常費用計	27,950,000	26,800,000	1,150,000
当期経常増減額	0	0	0
当期経常外増減額	360,000	360,000	0
当期一般正味財産増減額	360,000	360,000	0

役員名簿

① 令和6年度 役員名簿 (理事、監事)

		令和6年度役員選任		
役職名	勤務	氏名	所	属
代表理事 (会長)	非常勤	山崎 一志	高大建設(株)	
代表理事 (副会長)	非常勤	西野 精晃	(有)西野建設	
理事 (副会長)	非常勤	弘嶋 浩明	(株)晃立	
理事 (副会長)	非常勤	田島 基彦	(一社) 四国クリエイト協会	高知支所
理事 (副会長)	非常勤	國藤 浩史	須工ときわ株式会社	
理事	非常勤	山本 修	山本建設(株)	
理事	非常勤	尾崎 盛裕	尾崎建設(株)	
理事	非常勤	平田 幸成	大旺新洋(株)	
理事	非常勤	右城 猛	(一社) 高知県測量設計業協会	
理事	非常勤	徳弘 昭宏		
理事	非常勤	島田 博仁	大日本ダイヤコンサルタント(株)高知事務所	
理事	非常勤	河野 一郎	(株)山興	
理事	非常勤	原 忠	高知大学	
理事	非常勤	大内 雅博	高知工科大学	
業務執行理事 (専務理事)	常勤	佐々木 武	(公社) 高知県土木施工管理技士会	
監事	非常勤	田邊 一也	(株)田邊建設	
監事	非常勤	廣光 良昭	税理士	

② 令和6年度 顧問・相談役名簿

役職名	氏名	所	属	職名
顧問	久保 博道	高知県議会		議員
顧問	横地 和彦	高知県土木部		部長
顧問	渡邊 国広	四国地方整備局	高知河川国道事務所	所長
顧問	森山 崇	四国地方整備局	土佐国道事務所	所長
顧問	野本 啓介	四国地方整備局	高知港湾・空港整備事務所	所長
顧問	須田 泰造	四国地方整備局	中村河川国道事務所	所長
顧問	立石 和彦	西日本高速道路(株)四国支社	高知高速道路事務所	所長
顧問	國藤 浩史	一般社団法人高知県建設業協会		会長
顧問	松井 幸治	西日本建設業保証(株)高知支店		支店長
相談役	田邊 聖	(株)田邊建設		会長
相談役	安岡 健			

③ 令和6年度 委員会名簿

委員会	氏名	所	属	所属会社職名
総務委員会	委員長	山本 修	山本建設(株)	取締役会長
	副委員長	山下 政司	山下産業(株)	代表取締役
	委員	鍋島 英典	南国建興(株)	専務取締役
	委員	白井 誠	協業組合テスク	顧問
技術委員会	委員	藤田 龍一	(有)藤田組	代表取締役
	委員長	石建 国元	(株)石建組	取締役会長
	副委員長	尾崎 盛裕	尾崎建設(株)	取締役会長
	委員	徳弘 昭宏		
	委員	高橋 英俊	高知県土木部 技術管理課	課長
	委員	津野 義久	高知県土木部 土木政策課・技術管理課	課長補佐
	委員	北川 尚	(株)アンプル	調査役
研修委員会	委員	川崎 聡明	四国ブロック工業(株)	技術部長
	委員	夕部 雅丈	ゆう・人材成長研究所	所長
	委員長	隅田 吉昭	四国開発(株)	取締役
	副委員長	横田 昭彦	福留開発(株)	新技術事業部長
	委員	和田 達夫	(株)サン土木コンサルタント	常務取締役
広報委員会	委員	宮内 保人	(有)磯部組	技術部長
	委員	田内 孝也	四国労働安全センター	代表
	委員	大崎 真補	ミタニ建設工業(株)	所長
	委員長	弘嶋 浩明	(株)晃立	常務取締役
	副委員長	河野 一郎	セントラルコンサルタント(株)	技師長
委員会	委員	田邊 一也	(株)田邊建設	社長
	委員	橋詰 淳	(株)エイト日本技術開発	理事
	委員	吉良 勉	共立工営(株)	参与
	委員	井上 里沙	福留開発(株)	工事監理部

事務局より

令和6年度実施講習会の状況

①土木施工管理技術検定試験受験準備講習会

	実施日	内容	受講者数（前年数）	会場
実施済	6月11日（火）～6月13日（木）	1級1次（前半）	23（26）	高知県建設会館4階
実施済	6月18日（火）～6月20日（木）	1級1次（後半）	23（26）	高知県建設会館4階
募集中	8月28日（水）～8月29日（木）	1級2次	-（30）	高知県建設会館4階
募集中	9月10日（火）～9月12日（木）	2級1次・2次	-（20）	高知県建設会館4階

受講者数合計（102）

②土木施工管理技術講習会

	実施日	講習名	受講者数（前年数）	会場
実施済	6月25日（火）	土木施工管理技術講習会・高知会場	113（115）	高知城ホール
実施済	6月28日（金）	土木施工管理技術講習会・幡多会場	93（89）	大方ふるさと総合センター
実施済	7月3日（水）	土木施工管理技術講習会・東部会場	78（85）	田野町ふれあいセンター
予定	10月22日（火）	土木施工管理技術講習会・高知会場	-（104）	高知城ホール
予定	10月24日（木）	土木施工管理技術講習会・幡多会場	-（65）	大方ふるさと総合センター

受講者数合計（458）

③JCMセミナー（一社）全国土木施工管理技士会連合会共催

	実施日	講習名	受講者数（前年数）	会場
予定	11月14日（木）	JCMセミナー	-（60）	高知県建設会館4階
予定	11月26日（火）	JCMセミナー	-（60）	高知県建設会館4階

受講者数合計（120）

④四国4県統一テーマによる講習会の実施

	実施日	講習名	受講者数（前年数）	会場
予定	11月上旬	四国4県統一テーマ技術講習会	-（55）	高知県建設会館4階

⑤ 監理技術者講習【法定講習】

	実施日	講習名	受講者数 (前年数)	会場
実施済	4月19日 (金)	監理技術者講習	69 (50)	高知県建設会館4階
実施済	7月23日 (火)	監理技術者講習	71 (68)	高知県建設会館4階
募集中	10月4日 (金)	監理技術者講習	- (36)	高知県建設会館4階
募集中	12月3日 (火)	監理技術者講習	- (23)	高知県建設会館4階
募集中	令和7年 2月18日 (火)	監理技術者講習	- (59)	高知県建設会館4階

受講者数合計 (236)

⑥ 現場見学研修

	実施日	研修内容	参加者数	研修場所
実施済	7月25日 (木)	地盤改良 (深層混合処理) : KDJ	19	岡山県笠岡市
実施済	8月1日 (木)	ニューマチックケーソン基礎 : KDJ	11	安芸郡芸西村

【工業高校土木科 成績優秀者表彰 (4校 各1名)】



1級土木施工管理技術検定試験 受験準備講習 (1次)



令和6年度土木施工管理技術講習会 (Aプログラム)



6月25日 高知会場



6月28日 幡多会場



7月3日 東部会場

出前授業



6月7日 安芸中学校



7月8日 高知高校

KDJ (高知土木女子)



現場視察：7月25日 岡山県笠岡市



現場視察：8月1日 安芸郡芸西村和食



ミーティング：8月1日

技士会の

監理技術者講習

CPDS代行申請

講師による対面講習！ ～”現場経験談”が聞ける

申し込みはインターネットからがおトク！

- 12ユニット^⑨取得できます。さらに試験で会場平均点以上得点した方はさらに3ユニット追加。
これら学習履歴の申請手続きは一切不要です。 ⑨:上限のある形態コードです
但し、4年以内の受講は6ユニットになります。
 - 映像講習ではなく、経験豊かな地元講師による講習です。
 - お得なインターネット申し込み価格は9570円！手数料のかからないコンビニ支払いが便利です。
- ※郵送でのお申し込みも受け付けます。受講料9900円(要写真添付・郵便振替でのお支払いとなります。)
(郵送先は 一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 まで)

今年度の監理技術者講習開催予定

開催日	時間	講習会場
令和6年10月4日(金)	9:00～16:30	高知県建設会館4階
令和6年12月3日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4階
令和7年2月18日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4階

- 令和6年度 JCMセミナー((一社)全国土木施工管理技士会連合会共催)

開催予定のご案内

開催日	時間	講習名	講習会場
令和6年11月14日(木)	13:00～17:00	”現場の創意工夫Ⅱ”	高知県建設会館4階
令和6年11月26日(火)	13:00～17:00	”コンクリート工事で高評価を受けるための講座”	高知県建設会館4階